

2021年8月5日

各位

株式会社ドーン

宮崎市で映像通話システム「Live-X」の本運用を開始 —リモート市民相談を実現—

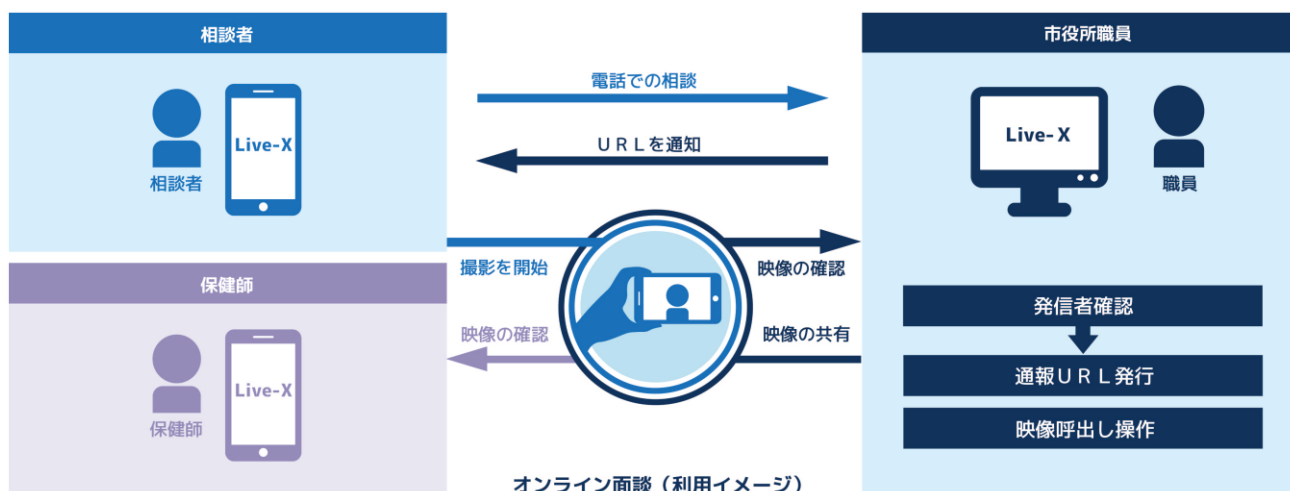
株式会社ドーン（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：宮崎正伸）が提供する映像通話システム「Live-X」が宮崎県宮崎市において採用され、リモートでの市民相談を実現する新しいツールとして、2021年8月より順次、運用が開始されることになりました。

同市では、就労支援サービス等を担う社会福祉課の相談業務に「Live-X」を導入し、これまで対面で行っていた各種相談をビデオ通話によるリモート方式で実施します。書類の書き方や添付書類の確認といった問い合わせに対し、主に相談者側から伝送される画像（動画・静止画）を担当職員が確認し相談に応じるもので、市民にとっても窓口を訪れる負担が軽減されます。

「Live-X」は、当社が展開する映像通報システム（消防機関向け「Live119」、警察本部向け「Live110」）の技術を応用しており、映像共有によるリアルタイムなコミュニケーションに広く活用できるツールです。画像伝送を求める側（行政職員等）が通話相手（相談者等）に専用ウェブサイト案内し、相手がこれを表示することでビデオ通話が開始される方式を採用しており、専用アプリを事前にダウンロードする必要がなく、簡単な操作で利用することができます。

同システムは、神戸市に続き、宮崎市での運用開始となりますが、当社は今後、非接触・遠隔での行政対応を支援するため、各地方自治体における本格導入を推進してまいります。

＜映像通話システム「Live-X」を活用したコミュニケーションのイメージ（役所等の窓口相談の例）＞



※ 「Live-X」は、株式会社ドーンの商標です。

※ 当社報道発表資料：2021年4月7日付「神戸市で映像通話システム「Live-X」の本運用を開始—COVID-19等流行下の非接触・遠隔での行政対応を支援—」（<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/23030/30fb9a0b/7bc8/4a36/9c23/39b78c67d2d1/140120210406490596.pdf>）

5G時代の到来により今後、映像通信の利用の広がりが見込まれるなか、この技術がさまざまなシーンで市民生活や安全の確保に役立つことが期待されます。当社は今後も、様々な空間情報技術を活用した新しいサービスの展開を積極的に進め、安心安全な社会の実現に貢献してまいります。

以上

<株式会社ドーンについて>

空間情報技術を活用した次世代ソリューションを提供し、警察消防、自治体防災、社会インフラ保全等の分野における DX 化を推進しています。

<本リリースに関するお問合せ先>

株式会社ドーン管理部 IR 担当（TEL : 078-222-9700 E-mail : dawn@dawn-corp.co.jp）